

## 28PA-pm445

タバコに関する薬剤師の意識調査 (4)

○川嶋 恵子<sup>1</sup>, 小本 健博<sup>2</sup>, 設楽 拓也<sup>2</sup>, 小松 健一<sup>3</sup>, 田中 三栄子<sup>1</sup> (<sup>1</sup>北海道科学大,<sup>2</sup>ココカラファインヘルスケア,<sup>3</sup>北海道薬大)

【目的】2003年に日本薬剤師会は『禁煙運動宣言』をした。宣言項目の中に「薬剤師の禁煙を徹底します」と「国民の禁煙支援に積極的に取り組みます」とある。そこで、どのような取り組みを行なっているのか「薬剤師の禁煙支援実情」についてアンケート調査を行なって検証した。

【方法】調査は、ココカラファインヘルスケア調剤薬局（関東以北）に入社3年以内の薬剤師研修会参加者を対象に、タバコに関するアンケート調査を実施した。調査方法は集合調査法・多項選択法・無記名式、調査期間は2017年6月であった。調査内容は、基本属性（性別、年齢）、禁煙補助薬の調剤、現在と今後の禁煙支援についてである。データ解析は、エスミMac統計解析V2を用いて解析を行なった。

【結果】薬剤師94名のうち、記入漏れのある無効回答を除き得られた有効回答数は91名(96.8%)であった。基本属性は、男性29名(31.9%)、女性62名(68.1%)、20代88名(96.7%)、30代3名(3.3%)であった。禁煙補助薬の調剤経験有りは54名(59.3%)、禁煙支援の声かけを行なっているのは35名(61.5%)、禁煙支援の声かけは有効であるかどうか分からないのは64名(70.3%)、今後の禁煙支援の声かけを考えているのは57名(62.6%)であった。店舗に禁煙啓発ポスターや看板(ノボリ)があるのは26名(28.6%)であった。

【考察】店舗内への禁煙啓発グッズの設置や禁煙支援の声かけを行なっている薬剤師は少なく、『薬剤師の禁煙支援』アピール度が低いのが実情であった。しかし、今後声かけを行うと考えている薬剤師が多いことから、OTCのポップ作成と同様に『禁煙啓発ポスター』を作成・貼付し、さらには新患アンケートでの喫煙者チェックを怠らず、服薬指導で禁煙支援ができる環境を組織的に整える必要がある。